

北海道高等学校文化連盟
第9回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
北海道教育委員会
- 2 主 管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟苫小牧支部支部
- 3 後 援 苫小牧市・苫小牧市教育委員会
- 4 当 番 校 北海道苫小牧南高等学校
苫小牧市のぞみ町2-1-2
TEL 0144-68-2122 FAX 0144-68-2123
- 5 期 日 平成24年11月14日（水曜日） 12:00～17:00
11月15日（木曜日） 9:00～12:30
- 6 会 場 苫小牧市民会館
苫小牧市旭町3-2-2
苫小牧市文化会館
苫小牧市旭町2-8-13
苫小牧市民活動センター
苫小牧市若草町3-3-8 ほか
- 7 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- 8 参加経費 1校 1,000円
- 9 参加申込 所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、10月19日（金）までに
苫小牧南高等学校高文連ボランティア研究大会事務局宛に E-Mail 送信
と参加申込書の両方の提出で申込をお願いします。
参加申込書（Excel2007形式とExcel97-2003形式）は苫小牧南高校HP
からダウンロードできます。文書の提出には、職印の押印を必ずお願い
します。
- 10 宿泊申込 宿泊等は特に斡旋いたしません。各学校で対応してください。
- 11 大会事務局 第9回全道高等学校ボランティア研究大会事務局
〒059-1272 北海道苫小牧市のぞみ町2-1-2
Tel 0144-67-2122（事務局）0144-67-2123（職員室）
Fax 0144-67-2124
担当 教頭 古瀬 径 二 教諭 横 関 丈 司
E-Mail yokozeki.takeshi@hokkaido.school.ed.jp

北海道高等学校文化連盟

第9回全道高等学校ボランティア研究大会開催要領

1 目 的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場を設ける。

2 テ ー マ 21世紀のボランティアを考える
～持続的な活動をめざして～

3 研修内容

(1) 全体講演 講師 金剛寺 須賀良央氏
(静岡県第4宗務所青年会)
(公益社会法人シャンティ国際ボランティア会)

演題 東日本大震災とボランティアのできること(仮)

(2) 分科会

- 第1分科会 認知症サポーターになろう
- 第2分科会 障がい者スポーツを体験しよう
- 第3分科会 国際理解・ユネスコ活動について学ぼう
- 第4分科会 要約筆記通訳を体験しよう
- 第5分科会 レクリエーション指導について学ぼう
- 第6分科会 絵本はこころの処方箋
- 第7分科会 北海道の自然保護とボランティアについて学ぼう
- 第8分科会 捨て猫の保護活動について学ぼう

4 会 場

- (1) 苫小牧市民会館ホール (苫小牧市旭町 3-2-2)
開閉会式・全体講演、総文祭報告、実践発表、交流の場、全体会
- (2) 苫小牧市文化会館 (苫小牧市旭町 2-8-13)
- (3) 苫小牧市民活動センター (苫小牧市若草町 3-3-8)
- (4) 苫小牧市心身障害者福祉センター (苫小牧市旭町 2-1-11)
- (5) 苫小牧市立中央図書館 (苫小牧市末広町 3丁目 1-15)

5 日程

第1日目 (11月14日 水曜日)

～12:00	会場設営・研究大会準備	市民会館
12:00～12:30	受付	市民会館ホール前
12:30～12:50	顧問・生徒代表者会議	市民会館 101号室
13:00～13:20	開 会 式	市民会館ホール
13:30～15:00	全 体 講 演	市民会館ホール
15:10～15:25	総 文 祭 報 告	市民会館ホール
15:25～16:00	実 践 発 表	市民会館ホール
16:10～17:00	交 流 の 場	市民会館ホール
17:00～	諸連絡・翌日準備	市民会館ホール 他

第2日目（11月15日 木曜日）

8:30～9:00	会場設営・集合	各分科会会場
9:00～11:00 (10:30過ぎに終了予定)	第1分科会 認知症について	市民会館 101号室
	第2分科会 障害者スポーツ	障害者福祉センター 玄関集合
	第3分科会 ユネスコ活動	市民会館 206号室
	第4分科会 要約筆記通訳	市民活動センター
	第5分科会 レクリエーション指導	市民会館 303号室
	第6分科会 絵本セラピー	苫小牧市中央図書館 2F 講堂
	第7分科会 北海道の自然	市民会館 205号室
	第8分科会 捨て猫の保護	市文化会館 3F 会議室 2・3
11:20～12:00	全 体 会	市民会館ホール
12:10～12:30	閉 会 式	市民会館ホール

<1日目>

苫小牧駅 ↔ 市民会館 15分

<2日目>

市文化会館 → 市民会館 3分

障害者福祉センター → 市民会館 5分

市民活動センター → 市民会館 5分

苫小牧市中央図書館 → 市民会館 15分

1日目全体交流会および2日目分科会の内容・案内

1日目全体交流では「クイズ大会」を計画しています。豪華（かもしれませんが。予算の関係がありますので）商品も用意しています。

つきましては、参加申し込み時に、「カルトローカルなご当地問題（○×あるいは2択）」を2～3題ご提供ください。ぜひよろしく願いいたします。ゆるく盛り上がりながら交流を深めていきたいと考えております。

2日目（15日）は朝から8つの分科会に分かれて研修を行います。

分科会ごとに受け入れ人数に限りがありますので、申し訳ありませんが第4希望までご記入下さい。希望通りにならないことがありますので必ずしも申し込みとおりにないことがありますのでご了承ください。調整後にご連絡をいたします。

持ち物については筆記用具をご持参ください。その他、必要なものがある場合は各分科会案内に記載してあります。

<第1分科会> 認知症サポーターになろう（40名）

講師 グループホーム日吉管理者・主任介護専門員 近藤 香寿美 様

認知症について正しく学ぶことで、認知症の方やその家族を見守り応援するためにわたしたちにどんなことができるか考えましょう。みんなでサポーターになりましょう。

<第2分科会> 障がい者スポーツを体験しよう（24名）

講師 苫小牧市心身障害者福祉センター 大村 博 様

車椅子バスケットやボッチャ（パラリンピックの公式種目です）を実際に体験することで、障がい者のスポーツ活動について理解し、スポーツによる交流の楽しさを知りましょう。ジャージ・運動靴など体育館で体を動かして活動できる服装を準備してください。

<第3分科会> ユネスコ活動について学ぼう（45名）

講師 苫小牧ユネスコ協会会長 大杉 忠 様

日本ユネスコ協会は、社会教育活動の充実を図るため、国際理解に関する学習活動、海外との文化交流、海外への支援等を行っています。地域のユネスコ協会がどのように考え、どのような活動を行っているか学び、わたしたちもユネスコ活動に関心を持ち参加していく機会としましょう。

<第4分科会> 要約筆記通訳を体験しよう（40名）

講師 苫小牧要約筆記通訳サークル「つたえーる」代表

朝倉 壽子 様

聴覚障がい者のコミュニケーション手段は「手話」ばかりではありません。要約筆記通訳は会議・講演の時にOHPなど利用して同時文字通訳を行う技術です。ロール紙と

マジックペンを使って、文字通訳を体験してみましょう。服装はなるべくならスカートではないもので。

<第5分科会> レクリエーション指導について学ぼう（25名）

講師 苫小牧レクリエーション協会 京谷 寿子 様

イベントやその装飾に注目のバルーンアート。そのバルーンアートでの作品作りの講習会を行います。初歩の技術を身に付けて、様々な場面で活用できるようになりましょう。

<第6分科会> 絵本はこころの処方箋 テーマ「やさしさって何だろう？」（40名）

講師 絵本セラピスト・苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会代表 谷口 佳子 様

「目の前の人を元気にしたい」というのが絵本セラピーを始めた理由です。みなさんは幼い頃、絵本を読んだことがありますか？読んだことがある人もない人も、高校生になって読んでみると、意外な楽しさや深さに気付くことがあります。今回は、「やさしさって、何だろう？」をテーマに、絵本のワークショップを行います。

<第7分科会> 北海道の自然保護とボランティアについて学ぼう（50名）

講師 ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンター 原田 修 様

ウトナイ湖は日本で最初の野鳥の聖域「サンクチュアリ」です。そこで活躍しているレンジャーの方から、自然の保護と人とのふれあいについて学び、自然保護の大切さなどどのような取り組みができるか考えてみましょう。

<第8分科会> 捨て猫の保護活動について学ぼう（50名）

講師 ツキネコカフェ代表 吉井美保子 様

犬や猫が人間によって毎日のように捨てられています。捨てられた猫の保護活動の実際の様子と課題について学ぶことで、捨て猫をどう保護できるのか、人間とペットとどう関わっていくべきかを考えていきましょう。